

呉工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	造形 I	
科目基礎情報							
科目番号	0063			科目区分	専門 / 選択必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科			対象学年	1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	間瀬 実郎						
到達目標							
建築設計に取り組むための基礎として、建築の透視図法と立体作品を主とし、工作技術と建築空間における表現力を習得する。本演習は、建築を設計する上での創造力、プレゼンテーション力の向上に必要である。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
模型材料をつかって建築の簡単な模型の制作ができる。1	デザイン、躯体、詳細が作れる			躯体、詳細が作れる		躯体、が作れる	
住宅建築の2 消点透視図を手描きで作図できること。	デザイン、躯体、詳細が描ける			躯体、詳細が描ける		躯体が描ける	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HC)							
教育方法等							
概要	建築模型と建築パースの作成方法を習得する。						
授業の進め方・方法	第1課題： 模型制作 曲線や曲面を用いた模型の制作方法を習得する。 素材の組み合わせや、色彩計画の基本を習得し、作品を制作できること。 第2課題： 透視図法 在来2消点透視図法（足線法、基線法等）を理解し簡単な形を手描きで作図ができること。 2 消点透視図の作図方法を理解し、簡単な形を手描きで作図ができること。 2 消点透視図の作図方法を理解し、2 階建住宅規模の建築を手描きで作図ができること。						
注意点	中学校で学んだ技術家庭、美術、数学、理科などの知識を総合して、建築空間のデザインや表現方法の基礎に応用する科目						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	「第1課題」説明		説明を理解する。		
		2週	模型作業		当日の課題を達成する。		
		3週	模型作業		当日の課題を達成する。		
		4週	模型作業		当日の課題を達成する。		
		5週	模型作業		当日の課題を達成する。		
		6週	模型作業		模型を完成する。		
		7週	作品発表、講評		作品発表、質疑応答にこたえる。		
		8週	2 消点透視図の作図方法の説明		説明を理解する		
	2ndQ	9週	2 消点透視図の作図方法の説明		説明を理解する		
		10週	2 消点透視図の作図方法の説明		説明を理解する		
		11週	2 消点透視図の作図演習（住宅建築）		当日の課題を達成する。		
		12週	2 消点透視図の作図演習（住宅建築）		当日の課題を達成する。		
		13週	2 消点透視図の作図演習（住宅建築）		当日の課題を達成する。		
		14週	2 消点透視図の作図演習（住宅建築）		当日の課題を達成する。		
		15週	2 消点透視図の作図演習（住宅建築）		当日の課題を達成する。		
		16週	作品発表、講評		作品発表、質疑応答にこたえる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	製図用具の特性を理解し、使用できる。	4	前1	
				線の描き分け(3種類程度)ができる。	4	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前11,前12,前13,前16	
				文字・寸法の記入を理解し、実践できる。	4	前1	
				立体的な発想とその表現(例えば、正投象、単面投象、透視投象などを用い)ができる。	4	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15	

				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	4	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15
--	--	--	--	---	---	--

評価割合							
	作品	発表					合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0